



港南小学校だより

7月号

二十四節気・七十二候

<7月の二十四節気>

- ・7月7日 小暑
やや暑熱を催す
- ・7月23日 大暑
蒸暑酷暑を感ず

<7月の七十二候>

- ・温風至
あつかぜいたる
→暖かい風が吹いてくる
- ・蓮始開
はずはじめてひらく
→蓮の花が咲き始める
- ・鷹乃学習
たかすなわちわざをならう
→鷹の幼鳥が飛ぶことを覚える
- ・桐始結花
きはじめてはなをむすぶ
→桐の実が生り始める
- ・土潤溽暑
つちうるおうてむしあつ
→土が湿って蒸し暑くなる
- ・大雨時行
たいうときどきおこなう
→時として大雨が降る

校長 船木 亮作

プールから子供たちの元気な声が聞こえてきます。六月十一日から今年度の水泳指導が始まり、本格的な夏を迎えたと思ったら、一学期も残り十五日となりました。

六月三日から二期に分けて実施しました「箱根移動教室」も無事終了しました。三泊四日の活動の中で子供たちの成長が日々見られた四日間でした。今年度は、三つのめあてをもって六年生の子供たちは、「思いやり」「感謝」です。特に「感謝」という点では、感謝の気持ちを言葉で表すとともに、来た時以上に部屋をきれいにしようという意識がどの児童にも感じられました。

また、わかば学級の子供たちも六月二十七日から二泊三日の日程で「合同移動教室」に行きました。準備の段階から他校の児童と交流を図りながら準備を進めていました。

さて、今の小学生が社会人になる頃のことを多くの研究者がAIやロボットの急激な進歩で、社会構造が大きく変わると予想されています。AIが人間の知能を上回る技術的特異点、シンギュラリティが二〇四〇年頃には来ると言われています。社会構造が大きく変わるのであればそれを見据えて教育も変化させていかなければなりません。

世界は今後十八世紀の産業革命以来、三百年ぶりに激動の時代に入ろうとしています。当然、求められる人材も大きく変わってきます。二十世紀は大量生産・大量流通・大量消費、あるいは工業社会を支える人材が求められました。極端に言えば、指示されたことを正確にこなせる知識・能力が必要とされました。しかし、これからの時代、従来型の知識や能力では太刀打ちできません。ですから新学習指導要領では子供たちをアクティブラーナーとして「脱指示待ち人間」を目指しています。アクティブ・ラーニングの手法の一つとして重視されているのが

PBLです。PBLは「プロジェクト・ベースド・ラーニング」又は「プロブレム・ベースド・ラーニング」とも言います。一人一人が自分の考えに基づき、やりたいことを表明し、その実現を図ろうとします。しかし、それが集団となるとしばしば対立が起きます。円滑に目的の実現を図ろうとすれば、意見や行動の調整、合意づくりが必要となります。つまり、それを体験的に学ぶのがPBLです。他の言い方に置き換えると「板挟み」体験をたくさんさせる必要があります。例えば、学校生活において話し合いをしなければならぬ人数が多ければ多いほど考え方は多様です。ですから、そこで大切になってくるのが「折り合いをつける」ことです。これは、グローバル化する社会に対しての「対応力」をつけることにもつながります。

今後、日本にも数多くの外国人が入ってきて一緒に仕事を行ったり英語で話したりすることが多くなってきました。異なる習慣・文化・考え方向き合い相手をリスpekトしながら物事に対処することが日常化します。その中で目的を達成するために上記のようなスキルを身に付けておかなければならないのです。

OECDの教育スキル局では「エデュケーショナル2030」と題し、これからの教育観を組み立てるプロジェクトを立ち上げ、そこでは知識と技能に加え「新しい教育観の創造」と「緊張とジレンマの調和する姿勢」を児童が身に付けるべき能力と位置付けています。

我々は、常に子供たちの将来を見据え、今つけておかなければならない力を我々自身が理解し、実践していくことが大切であると考えています。ですから、学校生活においても「折り合いをつける力」を色々な場面で体験的に学ばせていきたいと思えます。

今月の生活目標

「安全に気を付けて生活しましょう」

六月はふれあい月間でした。各学級であいさつや言葉遣いに関する目標を立て、実行し、振り返り、次への意欲を高めてきました。また、あいさつ委員会やフレンドリー班（異学年交流）による毎朝のあいさつ運動によって、あいさつへの気運が高まりました。さて、七月の生活目標は「安全に気を付けて生活しましょう」です。今年度は避難訓練も様々な場面を想定し、一学期から地震、火災、不審者対応、津波対策と状況を変えて訓練を実施しています。

また、水泳学習が始まり、みんなの命を守るためには、一人一人が約束を守る必要があります。廊下の歩き方など、普段から「安全」をより一層意識させて生活させていきます。また、夏休みの過ごし方について、保護者会にて資料を配布いたしましたので、ご家庭で必ず確認するようにお願いいたします。

（生活指導主幹 小清水 孝）



8月の主な行事予定

- 1日 (水) 夏季水泳教室B④
 - 2日 (木) 夏季水泳教室A⑤
 - 20日 (月) 夏季水泳教室B⑤
 - 21日 (火) 夏季水泳教室A⑥
 - 22日 (水) 夏季水泳教室B⑥
 - 23日 (木) 夏季水泳教室A⑦
 - 24日 (金) 夏季水泳教室B⑦
 - 27日 (月) 夏季水泳教室A⑧
 - 28日 (火) 夏季水泳教室B⑧
 - 29日 (水) 夏季水泳教室A⑨【検定日】
 - 30日 (木) 夏季水泳教室B⑨【検定日】
 - 31日 (金) 夏季休業日終
- ☆9月1日 (土) 始業式、小中合同引き渡し訓練

副校長より

水泳学習が始まり、子供たちの元気に泳ぐ姿が見られるようになりました。職員一同、事故の無いよう安全に留意して指導してまいります。さて、後三週間で一学期も終わります。今までの生活を振り返り、しっかりとまとめをしていきたいと思えます。そして、今年度の通知表には道徳の所見が追加されます。時代のグローバル化に伴い、これからの生きる子供たちには、様々な価値観や言語、文化を背景とする人々と互いに尊重し合いながら生

きていくことが求められます。多様な価値観を多面的、多角的に捉えて自己を見つめ、自己の生き方について考えます。是非お子さんとの授業をしてきたのかを話していただけたら幸いです。また、通知表には、学習の観点別評価や活動の様子も書かれています。資料としては少ないかもしれませんが、お子さんと一緒にご確認していただけたらと思えます。

(副校長

吉岡 慎
原島 謙一)

全国珠算教育連盟 暗算検定試験

1級

4年 吉村 玲一

7月の行事予定

1日	日	
2日	月	全校朝会、セーフティタイム、委員会活動 夏休み港南クラブ申し込み開始
3日	火	げんきアップタイム 保護者会(わかば、2・3・5年) 15:00
4日	水	集会、体育朝会
5日	木	都学力調査(5年) お茶会(わかば)、夏休み港南クラブ有料講座集金日
6日	金	保護者会(1・4・6年) ふれあいコンサート(3年)
7日	土	土曜授業日 フレンドリータイム、音楽を聴く会(わかば) 金管五重奏演奏会(2・4年)、不動産教室(1年)
8日	日	
9日	月	全校朝会、クラブ活動
10日	火	げんきアップタイム
11日	水	心の劇場(6年)
12日	木	音楽朝会、避難訓練、交通安全教室(3年)
13日	金	社会科見学(4年)
14日	土	
15日	日	
16日	月	海の日
17日	火	
18日	水	
19日	木	集会、体育朝会
20日	金	終業式、給食終了 基礎・清掃なし【14:15頃下校】
21日	土	夏季休業日開始
22日	日	
23日	月	夏季水泳教室A①
24日	火	夏季水泳教室B①
25日	水	夏季水泳教室A②
26日	木	夏季水泳教室B②
27日	金	夏季水泳教室A③
28日	土	
29日	日	
30日	月	夏季水泳教室B③【検定日】
31日	火	夏季水泳教室A④【検定日】

この他、学年ごとに夏季補習が予定されています。
詳しくは、保護者会資料や学年便りをご参照ください。

夏季水泳教室

- A 5・6年、2年(1~4組・5~7組)、4年
- B 3年、1年(1~4組・5~7組)、わかば

今月の生活目標

安全に気を付けて生活しましょう。

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	24	226	237	210	200	192	192	1281

六年生 移動教室

三つのめあて

箱根移動教室では見通し「思いやり」「感謝」という三つのめあてを立てて活動に取り組みました。「見通し」では、班長だけでなく、多くの児童が自らしおりで予定を確認する様子が見られました。十分前行動五分前行到着を意識し、時間に遅れることがないように声を掛け合っていました。

班活動

今回は「班活動」が大きなテーマの一つでした。毎日一度は班活動があり、鎌倉遠足での反省を生かしてみんなで協力して取り組めるように頑張りました。

小田原城では、四力所をしつかり回るために時間配分を考えました。箱根彫刻の森ではみんながお気に入りの彫刻をスケッチできるように全員で話し合う様子が見られ嬉しく思いました。班がバラバラになるなど上手く行かなかったところもありましたが、お弁当を食べながら次回に繋げていけるよう反省会を開いている子供たちを見て、成長を感じました。

「感謝」では、施設の方や、お世話になった学園の方々に心を込めて挨拶することができました。また、手伝ってもらった先生に対してすぐにお礼を言えるようになりました。

三つのめあてを今後も心に留め、学校生活でも生かしていけるように指導していきます。



課題別学習

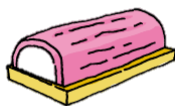
課題別学習として、四つのコースから自ら課題を選択し活動しました。

自然コースではロープウェイに乗って大涌谷へ行き、火山活動や箱根の自然について学びました。

産業コースでは鈴鹿かまぼこの作り方をしっかりと学んできました。鉄道コースでは、箱根登山鉄道に乗り、スイッチバックなど普段はできない体験をしてきました。芸術コースではラリック美術館などでじっくりと鑑賞し、よい思い出となりました。

今後は、それぞれのコースで学んだことをポスターなどにまとめ、五年生に向けて発表できるようにしていきます。

(四組担任 岡戸 奈都子)



社会科見学

社会科の学習では、自分たちの住んでいる港南の町や港区の様子について学習しています。屋上へ上がって港南小学校を中心に方角ごとの特色をまとめました。

社会科見学では、東京タワーや増上寺、お台場などを回って建物や人の様子、その歴史について見学してきました。

東京タワーの展望台からは「レインボーブリッジが見える!」「港南小はあつちかな」と、一人一人が異なった発見をし、必死にメモをとる姿に感じました。

社会科見学のまとめとして、新聞作りを行っています。実際に港区全体を巡って港南地区とその他の地区を比べたり、沢山の観光地があることに気付いたり、自分たちが住んでいる港区に愛着をもつことができました。新聞の完成が今からとても楽しみです。

(五組担任 山口 沙織)

三年生より

リコーダー学習

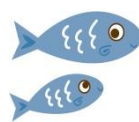
三年生になり、音楽ではリコーダーの学習が始まりました。子供たちは初めて手にするリコーダーに興味があるようで、「とにかく音を出してみたい」と練習に励んでいます。

しかし、ただ音を出すことはできても、綺麗な安定した音を奏でることはなかなかできません。そこで、六月八日に日本リコーダー協会から笠松徳司先生にゲストティーチャーとして来校していただき、リコーダー講習会を行いました。子供たちは、笠松先生の楽しいお話に聞き入るとともに、気持ちを音で伝えるということを学びました。また、いろいろな強さの息を吹き込み、綺麗で安定した音を出すための息遣いを意識してリコーダーの音を出すことができました。

この経験が、これからの音楽の学習に生かされ、たくさんの曲をリコーダーで吹いてみたいという意欲につながっていきたく思います。

(三組担任 松坂 祥子)

運河学習スタート!



(総合的な学習の時間) 三年生から総合的な学習の時間が始まります。

四月、五月の社会科の時間に町探検を行い、学校は運河に囲まれたような場所にあることに気付きました。

そこで、子供たちの生活の身近なところにあっても実はよく知らない「運河」について、総合的な学習の時間に調べていくことにしました。

始めに、「運河沿いで遊んだ、散歩をした、魚を見たことがある!」といった子供たちの経験を基に話し合いをしました。魚が住んでいるのか、どのくらい長いのか、運河は何のためにあるのかなど、疑問がたくさん挙がりました。

学習の課題を立て、調べ方やまとめ方も子供たちが主体となって決めていきます。年間を通して、主体的に取り組める学習を子供たちと一緒に作っていきます。

(一組担任 橋 由紀)

読書の好きな四年生から六年生までの児童九人で活動しています。人数は少ないですが、部長がリーダーシップを発揮して、みんなで協力して和やかに本に親しんでいます。

まず、各自が興味のある本をじっくり読み、最後にどんな本だったか、どんなところがおすすめかを発表し合います。友達の発表を聞き、次はその本を読んでみようという興味を広げることもあります。

今後は、本の楽しさを全校児童にも伝えられるような活動を考え、読書の好きな児童を増やしていけたらと思います。

(読書クラブ担当 矢澤 恵美)



サッカークラブでは、今年度もサッカー好きな子がたくさん集まり、六年生七名、五年生八名、四年生二十名の計三十五名で活動しています。六年生が、各チームのキャプテンとしてチームを引っ張り、毎回楽しく活動しています。

ゲームの前に、チームごとの練習の時間を取り、キャプテンを中心に内容を考えて取り組んでいます。ゲームではミスした人を責めるのではなく、励まし合いながら、最後まで一生懸命にボールを追いかける子供がたくさんいます。上級生を中心に子供たちの良い姿をもっと増やしていきたいよう、指導していきます。



(サッカークラブ担当 大久保 勝国)

陸上クラブは六年生六人、五年生九人、四年生十四人の計二十九人で活動しています。活動内容は投げる、走る、跳ぶ運動を月ごとに分け、年間を通して行っています。

体を動かすことが好きな子が多く、皆一生懸命活動に取り組んでいます。

短距離走や駅伝など、タイムを計測する活動や、おにごっこといったゲーム感覚の活動も取り入れています。ぜひ、子供たちには活動を通して、自分の記録が向上する喜びや体を動かす楽しさを感じてもらいたいと思っています。また、子供たちが自主的に活動内容を考えていくように指導・支援していきたいと思いま

(陸上クラブ担当 高橋 佳大)



農業クラブは六年生三名、五年生三名、四年生六名の計十二名で活動をしています。自分たちで育てたい野菜を決め、ミニトマトやナス、すいか、とうもろこしなどを五月の活動で植えました。畑の雑草を抜いたり、土を耕したりするところもみんなで協力して取り組むことができました。クラブ長を中心に決めた水やり当番も全員が進んで行い、野菜の成長を見守っています。野菜が成長して、おいしく食べられるように力をあわせて活動していきます。

(農業クラブ担当 山崎 愛未)



広報委員会

広報委員会では、当番制の貼り替えをし、ポスターの貼り替えをしたり、全員で毎月の行事予定表を作成したりしています。最新作の七月行事予定表では、海の風景をテーマに、それぞれが海の生き物を工夫して作り、そこに行事予定を書き込んでいます。

今回は三枚目の予定表を作成しました。活動を重ねて、自分からアイデアを出したり、手が空

(広報委員会担当 鬼塚 美海)

家庭科専科より

「家庭の仕事とはどういうものでしょう」と子供達に聞いてみると、「お金を稼ぐ」「お手伝いをする」といった答えが返ってきました。ご飯を作ったり洗濯をしたりということが、家族のための「仕事」であるというのはまだピンときていないようでした。家庭科では、家族が健康で快適に生活していくために、互いに協力したり分担したりして家庭の仕事をこなしているのだということ

を学習していきます。調理実習が楽しい、裁縫をやりたいたいという子供たちの意欲を大切にしながら、「楽しかった」だけで終わるのではなく、家族の一員としてできることを少しずつ増やしていきたいような学習をしています。学校で学習してきたことをご家庭でもチャレンジできるように、見守っていただけたらと思います。

(家庭科専科 松田 久美子)